

IGP Newsletter

Iou Global Program

Vol. 2 SEP., 2025

本校は、グローバルで活躍できる「アントレプレナーシップ精神」を持った生徒の育成に取り組んでいます。本校の国際理解教育、IGP(為桜グローバルプログラム)の取り組みについて紹介します。

★次世代グローバルリーダー育成支援事業に本校より2名が参加します



茨城県のグローバル人財育成事業に1年1組飯田千聖さん、1年4組海老原健さんが選ばされました。毎週オンラインで行う英語のレッスンと、集合研修を通して、課題解決、表現、議論する力の育成を目的に、プレゼンテーションやディベートに必要な思考力・スキルを習得する2年間のプログラムです。学んだことを学校での学びにも生かしてもらいたいです。

★茨城大学における先取り履修を受講します。

前回お伝えした「WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業」の活動の1つとして、国内外の大学と協働し、高校生に高度な学びを提供する取り組みがあります。このたび、茨城大学の国際共修科目の履修に本校生5名が選出されました。事業より受講料の補助を受け、ベトナムの大学生と協力して、ハイフォン市内の中高生に向けた日本文化紹介イベント、茨城県内の中高生に向けたベトナム文化紹介イベントの企画・運営を行います。

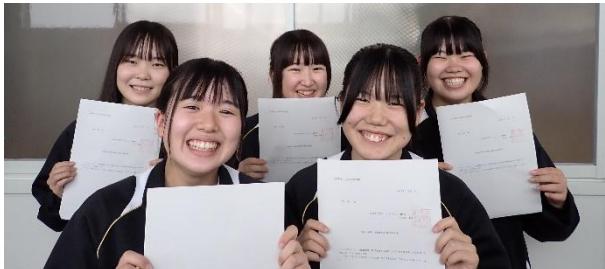
2年1組 松田寧々さん

2年3組 新井萌花さん

2年3組 荒井心結さん

2年3組 大関眞子さん

2年3組 吉川瀬乃さん



★「『アジア・高校生架け橋プロジェクト+』国際交流キャンプ」に本校生が選ばされました



文部科学省補助事業「アジア高校生架け橋プロジェクト+」は、各国から優秀な高校生を日本全国の高等学校に招聘し、日本人高校生との国際交流を深めることを目的とした事業です。今年度招かれた100名の留学生との国際交流キャンプに、1年4組宇梶詩穂さんが見事に選ばされました。全国で約20名のみに与えられる大変貴重な機会です。12月に都内にて3泊4日の研修となり、地球上で起きている課題の解決に向け留学生と討論を重ねます。次世代を担う自覚を持ち、日本の代表として堂々と意見を述べてもらいたいです。

★今年度のエソンヌ交流が始まりました

年4回の交流のうち、5月に2度のオンライン交流を実施しました。第1回のテーマは「日仏の学校生活の違い」で、3月に実際に来校したフランソワ・トリュフォー高校の皆さんを感じたことを発表し、また本校生も交流で分かった学校生活の違いなどについて意見を交換しました。第2回のテーマは「映画」についてです。カンヌ国際映画祭が行われるこの時期は、フランス中が映画の話題で盛り上がるそうで、この交流でもお互いのおすすめの映画などについて話し合いました。今年度はこの後さらに2回の交流のほか、高1年の音楽の授業から、和楽器演奏を配信する回を予定しています。

活動の様子はこちら: (本校ホームページ) <https://x.gd/WAL74o>



★IGP オーストラリア語学研修の参加者が決定しました

6月中に説明会、その後選考試験を行い、40名の参加者が決定しました。1年生 21名(男子8名、女子13名)、2年生 19名(男子8名、女子11名)が今後校内事前研修を経て3月にオーストラリアでの現地研修に臨みます。

★留学生を迎えます

このたび9月1日(月)より5ヵ月間、本校に留学生を迎えることとなりました。こちらも「WWL コンソーシアム構築支援事業」の取り組みになります。

Roosa Pietilainen(ローザ・ピエティライネン)さん

国籍: フィンランド

期間: 令和7年9月1日～令和8年1月30日まで

受け入れ学年: 高1年1組



ローザさんはイングリッシュセミナーや踏破会にも参加予定です。困っていそうなところを見かけたら皆さんでサポートをお願いします。

なお、留学生の受け入れにあたり、ホストファミリーの受け入れにご協力いただけますと幸いです。ご検討いただけます場合は、WWL協働機関である「非営利留学生受け入れ団体Global Exchange Education」までご連絡ください。

連絡先はこちら: (Global Exchange Education ホームページ) <https://x.gd/Q57fC>

発行: 下妻一高探究推進部

(0296)44-5158 担当: 本田・南部